



健保組合
加入事業所の
ご紹介
その27

野田食菌工業株式会社

「生命の尊重」を経営理念に、人にも環境にもやさしい天然素材から多くの製品を開発。化学合成の手法を使わずに、古くからの醗酵法を用いての製品作りは、国内外で数々の特許を取得している。

今回ご紹介する「野田食菌工業」は、1969年に野田市清水で創業された会社です。

創業以前は冷凍設備の機械を作っていました。空調の機械を利用して1年中キノコの採取ができないか研究を進めているなかでキノコの成分に注目しました。シイタケの抽出物から香味成分・栄養成分を採るための研究を重ね、1969年シイタケ菌糸体培養培地抽出物「LEM」の開発に成功、現在の事業の礎となりました。飯塚博社長にお話を伺いました。



飯塚博代表取締役社長

土から生み出し土に返す 自然のサイクルを前提に

シイタケ栽培は原木栽培が広く知られていますが、飯塚社長は、「原木ではなく、徳之島でサトウキビを搾った残りの繊維バグスを培養基の素材として利用することに着眼しました。人や環境にやさしい天然素材を利用することを基本とし、土から生み出し土に返す自然のサイクルを前提に考えています」と言います。

LEMの抽出は、加熱殺菌した培養基に純粋培養したシイタケ菌を植え付け、常温

設定された培養室で120日間培養し、傘の部分が出る前の菌糸が蔓延した培養基を破砕し、反応タンクに入れ培地ごと抽出します。

また、製薬会社等に製品を供給していることもあり、「どの製品も品質管理室を独立させ、何重ものチェックを行い、厳重な製品の品質管理を行っています」と話します。

1972年健康食品製造許可を取得し、商品「椎菌ドリンク」を発売。1975年

現在の野田市七光台に飯塚研究所を設立。

1977年LEMの抗植物ウィルス性を確認しました。きっかけとなったのは、「抽出後の培地の残渣を積み上げていた所の植物が元気になってくるのに気がつき、有効成分があるのではないかと大学で調べてもらい発見に至りました」とのこと。これは1983年植物ウィルス抑制剤「レンテミン」として農業登録取得となりました。

1981年には日本薬学会においてLEMの抗がん性も発表しています。

品化されたものです。他のインフルエンザウィルスについても引き続き研究されています。

2015年、8月に新第1工場が竣工、10月には培養棟が完成しました。製品の販売は対面販売が基本で、製品を説明して購入していただくことにしているため、直売店での販売となっています。インターネットでも販売しているのを見かけますが、直接販売ではないとのこと。ただ「LEMバリアのど飴」はインターネットで直接購入でき、薬局、自然食品店に置いてある所もあるそうです。

さらに飯塚社長は、「経営理念は、創業者が掲げた『生命の尊重』です。人間をはじめとする動植物の健康に貢献することを願い、その達成に情熱を傾けていくこと、それがやがては社会福祉、人類の幸福に通ずると信じています。自然素材のLEM、MAK、LEFを使用し、化学合成の手法を使わずに古くからの醗酵法を用いて安心して環境にも優しい製品作りを心がけています。当社の製品をより多くの人たちに飲んで効果を体感してもらい、健康維持・向上に役立ちたいと願っています」と熱く語ります。

最後に、飯塚社長に健康管理についてお聞きしたところ、「特別なことはしていませんが、食生活に気をつけ、運動を心がけています。健康維持・向上に役立ちたいと願っています」と熱く語ります。

自社製品摂取のお陰か インフル罹患率はいない

最後に、飯塚社長に健康管理についてお聞きしたところ、「特別なことはしていませんが、食生活に気をつけ、運動を心がけています。健康維持・向上に役立ちたいと願っています」と熱く語ります。

創業者から受け継ぐ 経営理念は「生命の尊重」

野田食菌工業は、国内外で数々の特許を取得しており、栽培方法・抽出方法・製造方法等、その特許の数は、国内で62、国外で29あり、現在申請中のものもあります。研究は続けられていますので、新たな有効成分の発見も期待されています。

また、病気への有効性の特許も多く、抗腫瘍性物質の製造方法、抗ウィルス剤の製造方法、皮膚筋炎治療剤、肝硬変進行抑制剤、エイズ治療剤、ヘルペスウィルスの増殖阻害、子宮体がんの再発予防剤、抗高血

ている」と話されていました。社員の皆さまの健康管理については、人間ドックはほぼ全員が受診、ウォーキングにも参加されています。インフルエンザ予防接種の申請がないので尋ねると、「当社の製品のお陰か、かかる人がいないため、受けていません」との回答でした。また、当社に勤務している人でOBも含めて、がんにかかったという話は聞いていないそうです。さらに、事業内容が受注生産なので、月間計画に沿って生産体制がとれるため、トラブルがない限り8時～17時の勤務時間で残業はなく、自分の時間もてるせいか、今までに精神疾患にかかった社員はいないとお話でした。

社員の福利厚生については、例年総務の企画で、偶数月にお誕生日会を行い、ポウリング大会やレストランに招待し、社長を交えてお話ができるというもので、社員には好評だったそうです。しかし、ここ2年は新工場の建設でその企画ができませんでしたので、また復活させたいと思っているそうです。



◆◆◆
今後も研究開発を行い、さらに新しい成分や有効性が発見されることを期待しております。飯塚社長、戸邊取締役総務部長、東風谷総務部次長には、お忙しいなか長時間にわたり取材にご協力いただきました。ありがとうございます。



▲本社新第一工場

野田食菌工業(株) いろいろな製品

●「LEMバリアのど飴」商品紹介サイト
<http://www.lem-life.com/item/>